

専門家の協力
大獅子デー夕を取得

静岡県立掛川工業高校情報技術科3年の鳥居晃さんが27日、掛川市仁藤町の大獅子の3次元点群データ取得に、仁藤町、行政、建設企業の協力を得て取り組んだ。データ取得は想定する課題をほぼクリアし、参加者からは「予想以上の精度のデータが取得できた」との意見が聞かれた。



データ取得作業の様子

鳥居さんは、きょう30
日にふじのくにi-Coo
nstruction推進
支援協議会（静岡県交
通基盤部）と建通新聞社
静岡支社などが共催する
「新技術交流イベント」
で、高校生からのニーズ
として「歴史的建造物を
後世に引き継ぐために、

当日協力したのは、大獅子を保有する掛川市仁藤町と祭り青年総務の責任者、地域の課題をICT技術で解決する集団「Code for Kakegawa」、静岡県建設技術企画課、掛川市、シーズを持つ企業として藤本組、松下組、豊富、ドロインサービス東海。作業は、大獅子を屋

ザースキャナーにより、それぞれ3次元点群データを取得した。

鳥居さんの取り組みについて、仁藤町祭り青年総務の責任者は「3Dデータがしっかり残れば、大変ありがたい。加えて、大獅子に興味を持ち、町内の祭りにも参加してくれる人が増えればと思っている」と、期待を表す。

（会長・鈴木亨静岡県くらし・環境部長）は25日、静岡市内で「第26回静岡県住まいの文化賞」表彰式を行った。写真。

鈴木会長は「住まいの文化賞は、協調を重視している。その意味で、（受賞作品は）住まい手と設計者、施工者の3者が一緒に取り組んだ住まいづくりの好事例」と評

「自ら望む
イルを実現する
価した。また

理事會
活動狀況

静岡県建設産
業会（石井源一
24日、静岡市内

活動強化へ情報交換

日設事連

東海・北信越ブロック協議会

日本設備設計事務所協会連合会（西田能行会長）は25日、静岡市内で設備設計業界の現状や課題などを情報交換した。

当日は、国土交通省静岡営業事務所の宮下吉広所長らを来賓に招き、静岡、長野、新潟、富山、

は奨励賞を受けた。

県予選大会は、静岡県

建築士会(飯尾清三会長)が主催。建築教育課程のある工業高校、高校、工業



石川、福井、愛知、三重、
岐阜県の会長ら約60人が

出席した。

主催県としてあいさつに立った静岡県設備設計協会の植田賢司会長は、「台風など、地球温暖化に伴う大規模な自然災害が発生している。われわれの業界でもハザードマップを踏まえた業務を考えていく必要がある」とし、有意義な会になることを期待した。

会議では、各県の活動

状況が報告された他、「新時代の潮流」をテーマに、課題解決に向けた今後の取り組みと提案などについて話し合われた。



高が優勝
園県予選

